

令和7年3月

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、新規項目を登録いたしましたので、ご案内いたします。

弊社におきましてはご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので
今後共引き続きお引き立ての程お願い申し上げます。 敬白

***** 記 *****

■新規受託項目

項目コード No.3611 プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)

	新	旧
項目コードNo.	3611	3610
検査項目名	プロコラーゲンⅢペプチド (P-Ⅲ-P)	プロコラーゲンⅢペプチド (P-Ⅲ-P)
検体量	血清0.4mL	同左
保存方法 (安定性)	冷蔵 (14日)	冷蔵 -
容器	T1 (汎用容器)	同左
検査方法	CLIA	IRMA
基準値	3.62~9.52 ng/mL カットオフ値 (肝に線維化のみら れる疾患) 6.95 ng/mL	0.3~0.8 U/mL
所要日数	3~6日	4~7日
報告下限	0.50 ng/mL 未満	0.3 U/mL 未満
報告上限	750 ng/mL 以上	999,000 U/mL 以上
検査実施料	136点	同左
判断料	生化学的検査 (I) 144点	同左
備考	<ul style="list-style-type: none"> 検体に溶血が認められた場合は低値となる可能性があるため使用を避けてください。 ビオチンを1日5mg以上投与・摂取している患者からの採血は、投与後、少なくとも8時間以上経過してから実施してください。 	<p><u>令和7年3月29日受付分をもって受託を中止させていただきます。</u></p>

■新旧の比較

裏面を参照ください。

■開始期日

令和7年3月10日(月) 受付分より

裏面へ続く

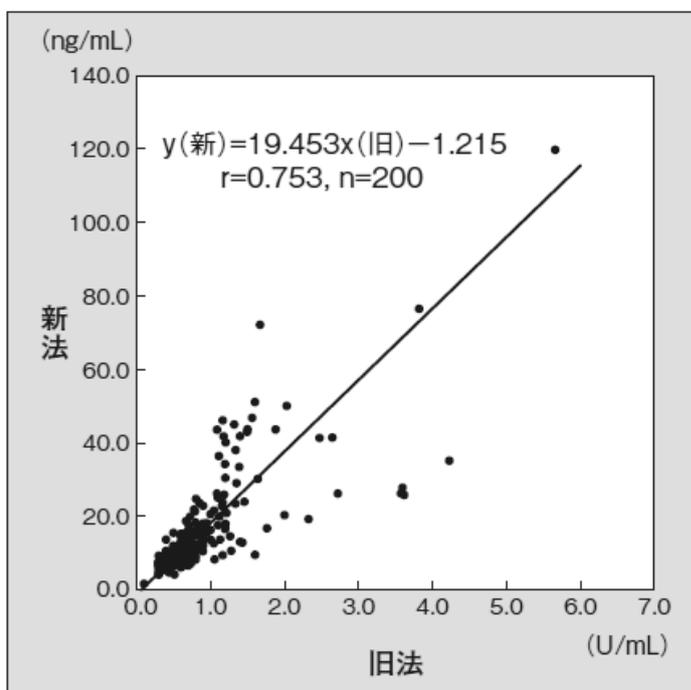
25-0343

●プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)

プロコラーゲンⅢペプチド (P-Ⅲ-P) はタイプⅢコラーゲンが生合成される際、前駆体のタイプⅢプロコラーゲンがプロコラーゲンプロテアーゼによって切り離されたペプチドであり、P-Ⅲ-P の増加はコラーゲンの産生や分解の亢進状態を反映することから肝線維化マーカーとして用いられています。

検査方法を non-RIA 法である CLIA 法に変更します。CLIA 法では報告単位が U/mL から質量単位 (ng/mL) に変わり、肝に線維化のみられる疾患のカットオフ値 (6.95 ng/mL) を新たに設定します。

■新旧の比較



(委託先資料)

以上